



健康文化部部長  
山崎 篤  
富士山こどもの国・生涯学習推進会・その他のスタッフの皆様に多大なご協力を賜りました。ありがとうございました。

## てんまる元気 ウォーキング2023 in 富士山こどもの国

地区体育祭の代替事業として、まちづくり協議会の理事会で協議した上で、11月12日（日）に富士山こどもの国を会場にウォーキング大会を開催しました。当日は曇り空で少し肌寒い気候でしたが、生涯学習推進会の管理の下で2.5kmのクロスカントリーコースを

支え合いセンター」を開設、市研修を修了したボランティア15名で業務を開始しました。これまでに約10件の相談があり、ゴミ出しや草取り、庭木の剪定など「ちょっとした困りごと」の支援も始まりました。この活動を通じて、これ

## みんなで創る安心社会 天間くらし支え合いセンター」開設

からの地域社会を支えていくためには絶対に必要な事業であることを実感しています。

まだこの活動のことを知らない人が多くいるということも分かってきました。この活動は天間地区皆の力が必要です。これからも情報提供や支援をお願いします。

天間くらし支え合いセンター  
代表 望月 廣一

・支援の相談やサポート（ボランティア）の募集については  
天間くらし支え合いセンター  
☎ 080-1629-1936まで  
毎週火曜日 午前9時～12時  
(年末年始12/29～1/3除く)



「てんまる」	編集発行協議会
天間地区まちづくりセンター	天間地区の人口
天間地区 男女計	3,147人 3,284人 6,431人 (2,890世帯)
	令和5年10月1日現在



## 郷土の歴史と美しい音楽 第8回天間地区歴史文化講演会

11月18日（土）に天間まちづくりセンター多目的ホールにて令和5年度の天間地区歴史文化講演会を開催しました。



子ども達の健やかな育ちを祝うかのように天候に恵まれた天間地区七五三奉納相撲大会。新型コロナ禍においても、できる形に工夫を凝らしながら途絶えることのなかつたこの伝統ある行事。今年度は4



第一部では富士山世界遺産センター学芸課の大高教授による「富士山信仰を歴史から学ぶ」講座が、第二部では郷土出身のメンバーで構成されたフルートアンサンブル「ふるり」と天間出身のオーボエ奏者加藤葵さんによるコンサートがそれぞれ行われました。



## 2年ぶり対面開催 市長と語る会

8月29日（火）に天間地区的行政懇談会である「市長と語る会」を開催しました。今回は小長井市長と森田副市長を招き、まちづくり協議会として地区の課題や要望等を直接受けました。

富士わかば保育園  
園長 石川 美佳

も歯を食いしばり立ち直ろうとし、前に向かう気持ちを大切に育つていって欲しいと心から願います。

大会に際しご尽力頂いた地域の皆様と、子ども達の心を支え、温かい声援を送つて下さった保護者の皆様に感謝致します。



- 1 今後の超高齢化社会に適応した町内会のあり方の模索について
- 2 天間まちづくりセンターリニューアル工事に伴うまちづくり活動の場等の確保について
- 3 天間親水公園の景観まちづくり推進について
- 4 天間小学校の展望について



**8時だよ！のみ食い終了**

**健康シリーズ**

**8時だよ！のみ食い終了**

~「いつ食べるか」が健康の分かれ道~

どうしても遅くなってしまう人のヒント1・2・3！

- 帰宅時間がおそくなってしまう。
- 夜勤や交代勤務で夜8時以降に仕事をしている。
- 夕食後にお菓子やお酒をとる習慣がある。

出かける前に夕食を食べるか、午後5～6時頃に夕食の一部を食べ、帰宅してから残りを食べるようになると、遅い時間の摂取エネルギーを少なくすることができます。

仕事をしていると、お腹が空きますよね。でも、体内時計は睡眠モードです。基本は日勤の人と同じ食事リズムを意識して、夜食は400kcalを目安に炭水化物（ご飯・パン）などに偏らないように選びましょう。

お菓子や嗜好飲料は昼間の時間に食べ、お酒は夕食のおかずをつまみにしてみましょう。

りのカギがあります。ご自身の生活習慣を見直し、2024年健康づくり活動をスタートさせましょう！

富士市地域保健課  
久保田 茉美



**5年生の米作り体験記**

5年生が中心となって、地域の皆さんに教えていただきながら、米作りに取り組んできました。米作りには予想以上が続いていてどの作業もとても大変でした。お米を守るために、手作りしたかかしや鳥よけを「ライスセイバー」と名付け、田んぼの周りに置きました。今年はとても暑い日が続いていてどの作業もとても大変でした。お米を守るために、手作りしたかかしや鳥よけを「ライスセイバー」と名付け、田んぼの周りに置きました。今年はとても暑い



上にいろいろな仕事があつて驚きました。田おこしから脱ごくまで約六種類の作業がありました。今年はとても暑い日が続いていてどの作業もとても大変でした。お米を守るために、手作りしたかかしや鳥よけを「ライスセイバー」と名付け、田んぼの周りに置きました。今年はとても暑い



いてお米を守りました。現在では機械を使って効率よく終わってしまう作業を、自分の手で行ったことで、お米ができるまでの苦労や工夫を体験することができました。これは地域の皆さまのご協力がなければできない学習です。本当にありがとうございました。おいしいおもちが今から楽しみです。

天間小学校  
五年 深澤 奏多

令和5年度は紙面で紹介しきれないほどの行事が天間地区に戻ってきました。それぞれの行事を通じて天間地区のことを知っています。「ネットワーク天間」を通じて、みなさんに地域の様々な活動に興味・関心を持つています。ただければと思います。より多くの方に地域行事に参加い

## 編集後記

### 天間まちづくりセンター リニューアル工事に伴う 閉館について

天間まちづくりセンターの本館は建設から約40年が経過し、長寿命化やバリアフリー化のために来年度リニューアル工事が予定されています。それに伴い、以下の期間中は天間まちづくりセンターは閉館となります。閉館中は最寄りのまちづくりセンター等をご利用ください。ご不便をおかけし申し訳ありませんが、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

閉館期間  
2024年5月～2025年3月

天間まちづくりセンター

多くなり、社会へのイニシエーションも相まって、悩むことが多く、「夢」という存在自体がただの戯言だと考えるようになっていた時期もありました。しかし、同じ状況の人が多くいるということ、同時に、うな気持ちでした。年を経ることに現実を直視する機会が増えた。その夢とは某有名企業に勤めることでしたが、大学受験を目前に打ちのめされそ

皆さん、「夢」はどんなものでしたか。私は幼いころから一貫した「夢」がありました。その夢とは某有名企業でした。その夢とは某有名企業に勤めましたが、大学受験を前に打ちのめされそれが夢に向かってめげずに精進している友人がクラスメートに多くののを同校の友人から気づかされる機会がありました。私はその姿勢に感化されました。そして、今もなお私は幼いころから決めていた「夢」を叶えるために受験勉強に一生懸命励んでいます。これを読んでくださった方にも同じように頑張れるきっかけになることを願います。

## 「再点火」

### 天間の高校生特別寄稿

（略）

天間地区まちづくり協議会  
公式インスタグラム

編集長 高橋 由紀

ただければ嬉しく思います。本年も地域のみなさまにとって幸多き一年となりますように。

県立富士高等学校  
三年 高橋 生一



**金賞**  
1年 西村 結  
【中学生の部】

ありがとう 笑顔でつなぐ 交通安全

**銀賞**  
1年 今福 未結  
あぶないよ 歩きスマホで 失う命

**銅賞**  
1年 渡邊 功羽  
ひろがるな きけんたくさん せまいみち

**佳作**  
5年 鈴木 心  
あんぜんは 自分でまもろう こうつうルール

**佳作**  
6年 望月 叶愛  
一人でも 小さなよびかけ 広めれば だんだん咲いてく 天間の笑顔

**監視より**  
1年 三橋 來愛  
まあいいか その気持ちが まねく事故

**佳作**  
1年 針生 楼真  
ヘルメット かぶつて守ろう 身の危険

**佳作**  
1年 敦澤 天那  
手を挙げよう 左右を確認 交通安全

10月22日(日)に実施予定であった天間地区市民安全大会は中止となりましたが、天間小学校の全児童と天間地区在住の鷹岡中学校1年生を対象とした標語コンクールを実施しました。厳正な審査の結果、入賞作品が決まりましたのでお知らせします。

**【小学生の部】**

賞	年	姓	名	題名
金賞	2年	石川	翔大	手は高く 気づいてもらおう わたる道
銀賞	4年	望月	琉翔	「あぶないよ」 注意はやさしい 思いやり
銅賞	4年	石川	紗良	見たつもり 止まつたつもりで 事故つもる

## 市民安全大会標語コンクール 審査結果